

とよた

社協だより

WELFARE INFORMATION

第155号

社会福祉法人
豊田市社会福祉協議会
〒471-0877
愛知県豊田市錦町1-1-1
TEL (0565)34-1131
<http://toyota-shakyo.jp/>

赤い羽根募金・歳末たすけあい募金にご協力をお願いします

募集期間 10月1日～12月31日

赤い羽根募金は誰でも参加できる《福祉参加の機会》です。

この運動は昭和22年から続いており、豊田市では今年も区長さんや組長さんのご協力をいただいて赤い羽根募金と歳末たすけあい募金を同時に募集させていただきます。お寄せいただいた募金は、高齢者の福祉・児童の福祉・障がいのある方の福祉・地域の福祉のために使われます。

皆様のあたたかいご協力をよろしくお願いします。



平成26年度 赤い羽根共同募金実績額

39,583,909円

赤い羽根募金実績額…27,560,696円 歳末たすけあい募金実績額…12,023,213円

ご協力ありがとうございました。



平成26年度の赤い羽根街頭募金の様子



平成27年度共同募金運動ポスター

<募金の使い道>

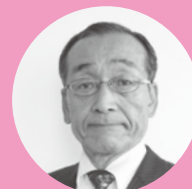
- 心配ごと相談事業
 - ボランティア事業
 - 長寿祝事業
 - 消火具支給事業
 - 生活困窮世帯の支援
- など

- *ご協力は強制ではありませんが、募金活動の本旨にご理解を賜り、ご協力をお願いします。
- *ご協力いただいた募金の内、下記の金額を超える寄付金は控除の対象となり、「領収書」により税制上の優遇措置を受けることができます。(詳細は税務署等にご確認ください)
2,000円…所得税の寄付金控除 5,000円…個人住民税の寄付金控除
- *領収書をご希望の方は、事前に事務局までお問い合わせください。(事務局：34-1131)

会長交代のお知らせ

豊田市社会福祉協議会では、^{ういとしゆき}宇井鎌之会長の退任にともない、^{かきじまのふしげ}柿島喜重氏が平成27年6月1日から会長に就任いたしました。

今後とも市民の皆様とともに社会福祉の推進に努めてまいりますので、あたたかいご理解・ご協力をお願い申し上げます。



柿島喜重会長

思いやり いつでもどこでも 誰にでも



地域福祉活動計画をみなさんと実践します！

地域福祉活動計画をみなさんと共に実践・推進していくため、豊田市社会福祉協議会は、今年度「地域福祉活動推進委員会」を新設しました。

この委員会では、今後、地域で積極的に福祉活動が実践されるための仕組みづくりや、豊田市社会福祉協議会として重点的に取り組んでいく活動を企画・検討していきます。

【地域福祉活動推進委員会 委員】

	氏名	選出母体(現在の役職等)
委員長	古川 利孝	豊田市区長会代表(理事・益富地区会長・大見町区長)
副委員長	山村 史子	見識者(日本地域福祉学会会員・日本福祉大学非常勤講師・名古屋医専教官・元次世代育成推進協議会委員)
委員	能見 知行	豊田市民生委員児童委員協議会代表(地域福祉部会長・小原地区民児協会会長)
	近藤 正臣	社協支所推進委員会代表(旭地区社協支所推進委員会委員長)
	竹中 勘次	地区コミュニティ会議福祉部会代表(若林地区コミ福祉委員会委員長)
	川越 一成	労働者団体代表(連合愛知豊田地域協議会副事務局長)
	佐藤 夕子	地域包括支援センター代表(ひまわりの街副センター長)
	木本 光宣	障がい者団体代表(NPO法人ユートピア若宮理事長)
	兵藤 寿八	行政機関代表(豊田市 市民福祉部 副参事)
	清水 章	行政機関代表(豊田市 社会部 地域支援課長)



地域福祉活動計画を実践・推進するための豊田市社会福祉協議会としての重点取組

1 顔の見える関係づくりのために

●誰もが顔を出せる「地域ふれあいサロン」の推進

2 地域福祉の担い手づくりのために

●「とよた市民福祉大学」の開講準備・企画

●企業退職者の地域デビュー、現役世代の地域参加を推進

3 助け合いのできる地域づくりのために

●身近な所への「地域福祉コーディネーター」の設置検討

●小地域(小学校区・自治区等)での住民懇談会の開催を支援

4 社会的孤立を防ぐための支援

●生活困窮者自立支援事業を推進

5 要配慮者対策を進めるために

●災害ボランティアコーディネーター養成講座の実施

下山支所発

「小地域(自治区)単位での住民懇談会」開催！

現在、下山支所では、各自治区を主体として“住民懇談会”を促進しています。

今年度は公募により「三巴^{さんぱ}自治区」をモデル自治区とし、7月には、自治区内の「蘭^{あいらぎ}町」と「黒坂町」で1回目の住民懇談会を開催しました。それぞれ「10年後の地域を見据え、自分たちの力で何ができるか？」をテーマにさらに3回にわたって開催する予定です。

他にも、大沼自治区・和合自治区が独自に住民懇談会を開催していますが、今後は下山地区の全自治区で開催されるように、自治区長会・地域会議・里楽暮^{りらくす}住しもやま会(定住促進)・市役所下山支所・交流館等の関係機関と協力しながら支援していきます。



小原支所発

「いきいき教室」を開催しています！



おこしものづくり教室の様子

う・手芸・メイク等、開催日によって内容の異なる教室を開催しています。

また、夏休みや冬休みの期間には、お子さんやそのご家族の方も参加しやすいように“体験会”等も実施しています。皆様ぜひお気軽にご参加ください。

小原支所では、小原地区の子どもから高齢者まで、どなたでも参加できる「いきいき教室」をふくしの里で開催しています。この教室は、ボランティアさんの協力により、「ふくしの里連絡バス」の運行日にあわせて月に12回開催しています。様々な体験をとおして参加者同士が交流することを目的として、和紙すき・ひも遊び・セラピー犬とのふれあい・五平餅づくり・唄を歌おう

平成26年度 事業報告および決算報告

●地域福祉の推進

平成25年度から2年間かけて取り組んできた「地域福祉活動計画」の策定は、地域住民が計画を理解して実践していけるものとするために、市内中学校区27地区でそれぞれ各2回とブロック別で5回の住民懇談会を開催し、住民の声を反映した計画とすることができました。

●相談・支援体制の充実

障がい者相談支援については、平成27年度から必須となったサービス等利用計画若しくは障がい児支援利用計画作成を段階的に進め、滞ることの無いスタートに向けての準備に努めました。

また、同じく平成27年度からスタートしている生活困窮者自立支援事業についても、職員の研修会参加や実施に向けて市との調整を行い、円滑に開始できる体制整備を行いました。

●在宅福祉サービスの充実

障がいの分野において、一般企業や関係機関との連携や就労支援制度を活用することで、福祉的就労及び一般就労への促進を図りました。

また、介護職員初任者研修を開催し、15歳から25歳の青少年を対象に将来の福祉の担い手の養成と、中山間地域における介護人材の育成に努めました。

収入

区分	決算額	説明
補助金・受託金	637,634	市・県社協からの補助金・委託金
介護保険事業	575,839	介護報酬収入、利用者負担金収入等
障がい福祉サービス事業	201,118	総合支援法事業利用料収入等
利用料	871	利用者負担金
共同募金配分金	32,414	共同募金の配分金
会費	27,721	世帯会費、法人会費等
負担金	10,443	市負担金・日赤負担金等
寄附金	7,977	一般寄付金、指定寄付金
事業収入	7,399	事業利用料・作業収入等
貸付事業等	4,117	貸付償還金収入
雑収入	148,363	受取利息収入等
前期末支払資金残高	549,500	
計	2,203,396	

支出

区分	決算額	説明
法人運営事業	85,657	法人運営、支所運営
地域福祉事業	210,911	自治区福祉活動助成、ボランティアセンターの運営等、相談事業、福祉人材育成
在宅福祉事業	225,550	車いす貸出、権利擁護事業、ふれあい通所事業等
施設管理運営	385,720	各施設の管理運営
資金貸付事業	11,668	生活福祉資金、ひまわり資金貸付事業
介護保険事業	553,850	【高齢者】ホームヘルプ、デイサービス事業等
障がい福祉サービス事業	146,981	【障がい者】ホームヘルプ、デイサービス事業等、精神障がい者作業所
計	1,620,337	

※単位：千円

※内部の資金移動分を除く

※収支差額は次年度に繰り越す

各種相談事業を実施しています

	心配ごと相談	法律相談	結婚相談
相談日時	毎週火曜日(祝日・年末年始は休み) 午後1時00分～午後4時00分	毎週土曜日(祝日・年末年始は休み) 午後1時00分～午後4時00分	毎週火・木・土曜日(祝日・年末年始は休み) 午前10時00分～午後4時00分
相談員	民生委員、保護司、専任相談員	弁護士	専任相談員
申し込み	相談日当日に来所または電話での相談可 直通(電話31-9671) ※相談日開所時のみ通話可	予約制(電話34-1131) 定員1日:5名(先着順) 時間30分/回 毎月20日以降に翌月分の申し込み受付実施	相談日当日に来所または電話での相談可 直通(電話34-2515) ※相談日開所時のみ通話可

相談費用は無料です。

車いす用福祉車両の貸出を行っています

豊田市社会福祉協議会では、市内の車いす利用者及び介助者の方にリフト付車両の貸出を行っております。ご利用の際には車両の予約ができますので、まずはお近くの窓口までお電話ください。

貸出窓口	車両名称	車両定員	車いす用スペース
豊田市福祉センター (電話34-1131)	ふれあい号(ノア)	定員7人	2台
障がい者総合福祉会館 (電話34-2940)	ふれあい3号(ファンカーゴ)	定員3人	1台
	あおぞら号(ハイエース)	定員9人	2台
足助まめだ館 (電話62-1857)	ふれあい4号(N-BOX)	定員3人	1台
小原福祉センターふくしの里 (電話65-3350)	いきいき号(ムーブ)	定員3人	1台
下山保健福祉センターまどいの丘 (電話90-4005)	ふれあい2号(エブリイ)	定員3人	1台
藤岡福祉センターふじのさと (電話76-3606)	さわやか号(エブリイ)	定員3人	1台



平成27年6月から福祉センターの「ふれあい号」が新しくなりました！

- ・貸出期間は3日間です
- ・使用料は無料ですが燃料代として10円/kmいただきます
- ・1か月前より各窓口で予約を受付けます

ありがとうございます (平成27年4月1日～7月31日までの受付分)

順不同、敬称略。掲載名は寄付者の意向に準拠 ※この他にも匿名で多くのご寄付をいただきました。

【社会福祉協議会への寄付】

タイマッサージはとん、築瀬国男、小池鈴子、井郷交流館お花見コンサートの募金カフェ、豊田柴田工業松田一雄、弘中真、香西洋子、ブランダースCup60回記念大会有志一同、岡本修司、創作あぶりけ楽布遊、崇光館交流館募金カフェ、バルーンアート「キュート12」、セウチダンススクール、豊田市高年大学13期生一同、岩瀬歌謡教室、豊田シルバーレク・フォークダンスの会、磯谷公明、崇中二八会、Most Monday Project、暮らしの手作り工房ちやるま、豊田南高等学校、美里地区ヘルスサポートリーダー、豊田身障協会旭支部、成瀬美志、もぐもぐ藤岡店

【豊田善意銀行への寄付】

(株)丸和電子化学黄レンジャーサークル、豊田西高等学校JRC部、野見山住人、すまいる演歌同好会

義援金へのご協力ありがとうございました (平成27年4月1日～7月31日までの受付分)

順不同、敬称略。掲載名および送金先は寄付者の意向に準拠

※この他にも匿名で多くのご寄付をいただきました。

朝日建設(株)、美里スポーツクラブ卓球部門、青木自治区

ふれあい花見の会、戸田粋子、衣丘小学校父母教師会、

篠澤國雄、豊田市赤十字奉仕団、島悦郎、民主党愛知県第11区総支部、杉好食堂お客様一同、豊田市青少年センター、

おはり箱、豊田市立豊南中学校、鞍ヶ池あじさいの道20周年記念祭実行委員会、豊田市国際交流協会、豊田市立逢妻

中学校、連合愛知豊田地域協議会、小原診療所、藤岡地区スポレク大会実行委員会、市内管理施設義援金箱

《期間内に本会で受付けた義援金・救援金》

東日本大震災義援金・鹿児島県口永良部島噴火災害義援金

長野県神代断層地震義援金・2015年ネパール地震救援金

東日本大震災義援金実績(平成27年7月31日現在) 金額：134,355,619円 1,924件